

公立大学法人山口県立大学の平成22年度
における業務の実績に関する評価の結果

(素 案)

平成23年 月 日

山口県公立大学法人評価委員会

公立大学法人山口県立大学の平成22年度における業務の実績に関する評価の結果

1 評価実施の根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条

2 評価の対象

平成22年度における法人の中期計画（平成18年7月知事認可。計画期間：平成18年度～平成23年度）の進捗状況

3 評価の目的

法人の業務運営の自主的、継続的な見直し、改善を促し、もって、法人の業務の質の向上、業務運営の効率化、透明性の確保に資する。

4 評価者

山口県公立大学法人評価委員会（委員構成は次表のとおり）

氏 名	役 職 等
牛 見 正 彦	学校法人野田学園理事長 【委員長】
呉 正 和	公認会計士
樋 口 紀 子	梅光学院大学国際言語文化学部教授
二 木 寛 夫	学校法人宇部学園専務理事
松 浦 秀 子	日新運輸工業株式会社代表取締役社長

(50音順)

5 評価を実施した時期

平成23年6月24日から平成23年7月 日まで

6 評価方法の概要

(1) 評価の実施に関する定め

公立大学法人山口県立大学の業務の実績に関する評価の実施要領（平成19年5月山口県公立大学法人評価委員会決定）

(2) 評価の手法

法人の自己評価の結果を活用する間接評価方式

(3) 法人の自己評価の方法（評価項目・評価基準及びその判断の目安の概要）

【最小単位別評価】			【大項目別評価】			【全体評価(総合的な評定)】		
①年度計画の最小項目(最大201項目)ごとの達成状況を5段階評価			②中期計画の5つの大項目ごとの進捗状況を5段階評価			③中期計画全体の進捗状況を5段階評価		
評点	評語	判断の目安	符号	評語	判断の目安	符号	評語	判断の目安
5	年度計画を十二分に達成	達成度 120%以上	s	中期計画の進捗は優れて順調	①の評点の単純平均値 4.3以上	S	中期計画の進捗は優れて順調	②の評点の加重平均値 4.3以上
4	年度計画を十分達成	100%以上 120%未満	a	中期計画の進捗は順調	3.5以上 4.2以下	A	中期計画の進捗は順調	3.5以上 4.2以下
3	【標準】 年度計画を概ね達成	90%以上 100%未満	b	【標準】 中期計画の進捗は概ね順調	2.7以上 3.4以下	B	【標準】 中期計画の進捗は概ね順調	2.7以上 3.4以下
2	年度計画はやや未達成	70%以上 90%未満	c	中期計画の進捗はやや遅れている	1.9以上 2.6以下	C	中期計画の進捗はやや遅れている	1.9以上 2.6以下
1	年度計画は未達成	70%未満	d	中期計画の進捗は遅れている	1.8以下	D	中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

注：評点の付け方について

ほぼ計画どおり達成した場合を「標準」とし3点を付す。4点以上は、達成度が計画以上である場合に付すことが基本である。例えば、制度、仕組みを整備する計画の場合、計画に沿って当該制度等を整備した場合は3点を付し、整備された制度等が既に機能を発揮していると認められる場合に4点以上を付すこととなる。

(4) 評価実施の経過

- 6月24日 法人から業務実績報告書の提出
- 7月 7日 評価委員会開催（第15回）
- 7月 日 評価書原案決定
- 7月 日 評価書原案の法人提示
- 7月 日 評価書原案に対する法人意見の提出
- 7月 日 評価書の確定

7 評価の結果

(1) 総合的な評定

中期計画の進捗は概ね順調（「標準」のB評価）

【理由】

法人の自己評価による総合的な評定は、「中期計画の進捗状況は概ね順調」となっている。評価委員会において法人から提出された書類、法人関係者からのヒアリング等に基づきその妥当性を検証したところ、自己評価は定められた方法に従って行われており、全ての評価項目において自己評価と異なる評定をすべき事項もなか

ったことから、評価委員会の総合的な評定は、法人の自己評価どおりとすることが妥当であると判断した。

(評定概要)

*法人の自己評価どおりである。

大項目区分	中期計画 (H18~23) 項目数	平成22年度実績の評価(評定)							評点 平均値	大項目区分 ごとの評定
		年度計画 項目数	評点別項目数 ()は達成度							
			5点 (120%以上)	4点 (100~120)	3点 (90~100)	2点 (70~90)	1点 (70未満)			
教育研究	138	40	2	7	30	1	0	3.25	b(概ね順調)	
業務運営	41	9	0	0	8	1	0	2.89	b(概ね順調)	
財務内容	13	10	1	0	9	0	0	3.20	b(概ね順調)	
点検・評価	5	2	0	0	2	0	0	3.00	b(概ね順調)	
その他	4	1	0	0	1	0	0	3.00	b(概ね順調)	
全体	201	62	3	7	50	2	0	3.14	B(概ね順調)	

注：中期計画項目数と年度計画項目数の差異について

中期計画項目数と年度計画項目数との差違139項目は、平成21年度までに実施済みであること等から平成22年度の年度計画がない項目であり、今回の評価の対象外である。

(2) 概況

ア 全体的な状況

山口県立大学は、昭和16年に開設された山口県立女子専門学校を母体とし、昭和25年の山口女子短期大学設置、昭和50年の山口女子大学への改組転換、平成8年の山口県立大学への名称変更及び男女共学化、平成18年の公立大学法人化を経て現在に至っている。

法人化後の大学においては、健康や文化に関する専門的な教育研究を行うとともに、人材の育成や研究成果の社会還元による地域貢献活動を積極的に展開し、地域社会の発展に寄与する存在感ある「地域貢献型大学」となることを目指し、中期目標、中期計画、年度計画に基づいて、教育研究の質の向上や業務運営の改善に取り組んでいる。

法人化後5年間の実績についてみると、文部科学省が大学の優れた教育プログラムに対して財政支援を行う「GP (Good Practice)」等の8件採択をはじめ、オープンカレッジの拡充、外部研究資金の大幅な増加など、法人化前に比べて飛躍的な前進を遂げており、法人化後における大学改革や教育研究活性化の取組が成果を上げている。

中期計画もその多くが実施済みとなり、中期計画に基づき法人が作成する年度計画の項目数は着実に減少し、平成22年度における年度計画の項目数は、中期計画の項目数201に対し62となっている。

平成22年度の業務の実績についてみると、まず、教育研究については、国家試験

合格率や就職決定率に関する目標をほぼ達成するとともに、大学院の機能の発揮や、国際共同研究・国際交流に関する取組の進展など、所期の成果が得られている。

なお、県立大学の目的に適う学生の自主的活動も活発に行われており、今後の展開が期待されるところである。

業務運営については、人事評価制度の導入に向けた精力的取組が引き続き期待される場所であるが、事務処理の合理化に関する新たな取組や事務組織の見直しに関する継続的な取組が適切に行われている。

財務については、5年連続して目標を上回る外部研究資金を確保するとともに、その他の財務内容の改善に関する取組も継続的に行われている。

以上のことから、法人の中期計画は、全体として概ね順調に進捗しているものと評価することができる。

今後、法人にあっては、第1期中期目標期間の取組を総括し、第2期中期目標期間においても、存在感ある「地域貢献型大学」として一層の個性化を図りつつ、県民や地域社会の期待に応える成果を上げることができるよう、所要の取組を進めることを期待する。

イ 大項目ごとの状況

全体的な状況に掲げた事項に関連し、特記すべき長所や問題点を以下に列挙する。

(文末のNo. は該当する中期計画の番号。白抜数字は評点)

(ア) 教育研究等の質の向上に関する事項

教育

- ① 社会福祉士の資格取得率（国家試験合格者数累計／卒業者数累計）は63.0%であり、50%を目指すとの目標を平成18年度から引き続き達成している。
(No. 6) **5**
- ② 精神保健福祉士については、平成22年度に初となる養成課程修了者を輩出し、その資格取得率（国家試験合格者数／課程を修了した卒業者数）は92.9%と、60%を目指すとした目標を十分に達成している。(No. 7) **4**
- ③ 看護師、助産師、保健師の国家試験合格率は、それぞれ100%、100%、94.5%であり、100%を目指すとの目標を十分達成している。(No. 8) **4**
- ④ 管理栄養士の国家試験合格率は89.1%であり、前年度に比べて上昇した。また、看護栄養学部栄養学科においては、学生がチームを組んで地域の児童を対象とした食育プログラムの開発・実践を行い学外から一定の評価を得るなど、

地域貢献型大学にふさわしい取組も継続的に行われており、今後の展開に期待する。(No. 9) **3**

- ⑤ 国際文化学部の学生グループによって、T F T (Table For Two : 1食ごとに20円を発展途上国に届ける活動) や「Kid's English」(小学生向け英語教室)、宮野駅における看板制作・展示企画など様々な取組が行われている。同学部の目的である「地域の国際化や個性豊かな地域文化の振興・創造に資する人材の育成」にも適うこのような学生の自主的活動が引き続き活発に行われることを期待する。(No. 10、No. 14) **3**
- ⑥ 国際文化学部において英語を専門的に学ぶ学生の国際コミュニケーション英語能力テスト(「TOEIC」)において、4年生全員が、目標の650点以上を達成した。一方、中国語、韓国語については、なお向上の余地があることから今後の取組に期待する。(No. 11) **3**
- ⑦ 就職決定率は、厳しい就職環境の中にあっても、95.5%と高い水準を維持しており、100%を目指すとの目標を十分達成している。(No. 16) **4**
- ⑧ 大学院進学希望者の大学院進学率は100%であり、100%を目指すとの目標を十二分に達成している。(No. 17) **5**
- ⑨ 健康福祉学研究科博士後期課程にあつては、院生による国際会議等での研究成果発表、「博士」の学位授与等が順調に行われるなど、当該課程が機能している。(No. 25、No. 21) **4**
- ⑩ 学生の学修効果を高める取組として、戦略的大学連携支援プログラムを活用したe-learningや遠隔講義の取組が順調に行われている。(No. 42、No. 52) **3**
- ⑪ 学部1年生のTOEIC取得点数に関する年度計画はやや未達成であり、改善に向けた今後の取組を期待する。(No. 3) **2**

研究

- ① ラップランド大学(フィンランド)との間で共同研究を行い、その成果の共同展示に至るなど、海外姉妹校との国際共同研究に関する年度計画を十分達成している。(No. 98) **4**
- ② 科学研究費補助金については、申請を組織的に支援する体制を整備し、申請件数も前年度の水準を維持している。引き続き、申請件数の確保増大等が図られるよう継続的な取組を期待する。(No. 99) **3**

国際交流

- ① 学生交流、教職員交流、国際共同研究について、いずれも前年度を上回る実績を上げるなど、国際化推進方針に基づく取組が順調に推移している。

(No. 130) **4**

- ② 姉妹大学交流・市民公開講座や、姉妹校との共同研究の成果を展示するイベントを開催するなど、国際交流の成果の地域還元を図っている。(No. 136) **3**

(イ) 業務運営の改善及び効率化に関する事項

人事の適正化

- ① 人事評価制度の導入に関する取組については、平成23年度から管理職の教員を対象に試行を開始することが決定し、学内関係機関、関係教員への説明が行われるなど一定の前進をみたものの、中期計画の進捗としてはやや遅れている。引き続き精力的な取組を期待する。(No. 168) **2**

- ② 法人採用事務職員の数は、平成22年度の20人（全29人のうち）から平成23年度には24人（全30人のうち）となり、県派遣職員中心から法人採用職員中心への移行が順調に進捗している。法人採用職員中心体制に適切に対応した職員の資質・能力向上施策の充実に期待する。

事務等の効率化、合理化

- ① 学生が、学生生活を送る上で必要な情報を一元的に得られる「YPUポータル」の構築や、授業評価・シラバスに関するWebシステムの独自システムから汎用システムへの変更等、事務処理の効率化や外部委託の活用に関する新たな取組が実行されている。(No. 175、No. 176) **3**

- ② 平成22年4月に再編した事務組織体制（教育研究推進室の新設、教育研究支援部と学生支援部の統合、経営企画室と総務部の再編）の下で大学運営を実施するとともに、その運営状況を踏まえ、キャリアサポートセンター所長の民間登用を行うこととするなど、事務組織の見直しに関する継続的取組を適切に行っている。(No. 179) **3**

(ウ) 財務内容の改善に関する事項

自己収入の増加

平成22年度における外部研究資金の獲得額は109,034千円であり、法人化前年度(平成17年度)実績の2倍を確保するとの目標に対し2.8倍の水準を確保している。

文部科学省において大学の質の向上等に関する公募型補助事業の主要なものが平成22年度をもって廃止されたこと等も踏まえ、今後の自己収入の確保に向けた一層の取組を期待する。(No. 181) **5**

経費の抑制

平成23年度から一律配分する研究費の基準単価を引き下げるとともに、新たな競争的研究費の枠を設定することとするなど、教員教授研究費の運用改善にインセンティブが働く仕組みの構築に関する取組が継続的に行われている。

(No. 186) **3**

(エ) その他業務運営に関する重要事項

キャンパス移転を視野に入れた施設機能の在り方等の検討については、新講堂側敷地への集約移転を目指す「山口県立大学第二期整備将来構想(案)」が策定・公表されるなど、県立大学が施設・環境面で抱える課題の解消に向けた検討が進められており、今後、この構想(案)を踏まえ、更に検討が深められることを期待する。

(No. 198) **3**

(3) 従前の評価結果等の法人の業務運営への活用状況

平成21年度に係る業務の実績に関する評価において、評価委員会が中期計画の遅れを指摘した4項目全てについて改善措置が講じられており、評価結果が業務運営に反映されている。

(4) 法人による自己評価結果と異なる評価を行った事項

なし

8 法人に対する勧告

なし

9 法人からの意見の申出とその対応

()

10 項目別評価結果総括表
(別表のとおり)

別表 項目別評価結果総括表

区分 (大項目) (中項目) (小項目)	中期 計画 項目 数 ①	最小単位 別評価の 対象項目 数(年度 計画項目 数) ②	最小単位別評価の評点の内訳(個数)						最小単位 別評価の 評点平均 値 ⑨	最小単位別評価の評点の内訳(構成割合(%))							大項目 別評価 (評定) ⑰	大項目 の ウェイト ⑱	備 考
			5点 ③	4点 ④	3点 ⑤	2点 ⑥	1点 ⑦	計 ⑧		5点 ⑩	4点 ⑪	3点 ⑫	2点 ⑬	1点 ⑭	計 ⑮	3点以上 の評点が 占める 割合 ⑯			
第1 教育研究等の質の向上	138	40	2	7	30	1	0	40	3.25	5.0	17.5	75.0	2.5	0.0	100.0	97.5	b	0.50	
1 教育	74	25	2	5	17	1	0	25	3.32	8.0	20.0	68.0	4.0	0.0	100.0	96.0			
(1)教育の成果に関する具体的到達 目標の設定	21	20	2	4	13	1	0	20	3.35	10.0	20.0	65.0	5.0	0.0	100.0	95.0			
(2)新たな教育課程の編成	6	1	0	1	0	0	0	1	4.00	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
(3)教育方法の改善	26	2	0	0	2	0	0	2	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
(4)教員の教育能力の向上に資する 組織的な取組の推進	8	1	0	0	1	0	0	1	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
(5)学生の受入方法の改善	13	1	0	0	1	0	0	1	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
2 学生への支援	22	1	0	0	1	0	0	1	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
3 研 究	19	6	0	1	5	0	0	6	3.17	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	100.0	100.0			
4 地域貢献	18	4	0	0	4	0	0	4	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			再掲1 (No.97)
5 国際交流	11	6	0	2	4	0	0	6	3.33	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0	100.0			再掲1 (No.98)
第2 業務運営の改善及び効率化	41	9	0	0	8	1	0	9	2.89	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	100.0	88.9	b	0.20	
1 運営体制の改善	16	3	0	0	3	0	0	3	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
2 教育研究組織の見直し	8	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-			
3 人事の適正化	12	1	0	0	0	1	0	1	2.00	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0			
4 事務等の効率化、合理化	5	5	0	0	5	0	0	5	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
第3 財務内容の改善	13	10	1	0	9	0	0	10	3.20	10.0	0.0	90.0	0.0	0.0	100.0	100.0	b	0.20	
1 自己収入の増加	4	2	1	0	1	0	0	2	4.00	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
2 経費の抑制	5	4	0	0	4	0	0	4	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
3 資産の管理及び運用	4	4	0	0	4	0	0	4	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
第4 自己点検、評価及び当該状況に 係る情報の提供	5	2	0	0	2	0	0	2	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	b	0.05	
第5 その他業務運営	4	1	0	0	1	0	0	1	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	b	0.05	
1 施設設備の整備、活用等	1	1	0	0	1	0	0	1	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			
2 安全衛生管理	3	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-			
単純合計(ウェイト非考慮)	201	62	3	7	50	2	0	62	3.18	4.8	11.3	80.6	3.2	0.0	100.0	96.8			
全体評価									3.14	4.5	8.8	83.3	3.5	0.0	100.0	96.5	B	1.00	